

【タイ製造】

生産現場の改善事例を発表

デンソーが最優秀賞

日本能率協会（JMA）は2日、タイの首都バンコクで生産現場管理の事例発表会「ゲンバ・マネジメント・カンファレンス&アワード2017」を開催した。選抜された日系企業6社の管理監督者が、最新設備の導入ではなく、生産工程の工夫による成果を披露。最優秀賞は、自動車エアコン用コンデンサー生産の安定化に努めたデンソー（タイランド）が受賞した。



事例を発表するデンソー（タイランド）のポーラメート氏。今年の大賞に輝いた=2日、バンコク（NNA撮影）

デンソー（タイランド）が東部チャチュンサオ県に置くウェルグロウ工場・第1生産課のポーラメート・アシスタントマネジャーは、担当する小型コンデンサーの安定生産に向けた取り組みを紹介した。実践したのは、工程内不良の削減に向けた2016年度の職場体質の改革。

前年度は需要拡大による増産対応に追われ、不良率の低減が課題として残っていた。

コンデンサーは世界9カ国の11ラインで生産しているが、タイは日本とは異なり手作業が主体。200人以上が在籍する中、ベテランと若手を組み合わせる「ヤリキリペア作戦」を打ち出し、ガス状の冷媒が漏れてエアコンが効かなくなる不良の原因究明などに当たさせた。

ポーラメート氏は「現場目線が生きた」と語る。16年度は不良が前年から89%減少し、グループのコンデンサー拠点のうち、品質ランクは前年の6位から2位に浮上した。まだ日本には及ばないものの、今後もアジアのマザー工場としての地位確立に寄与するため、改善を続けていく考えを示した。

作業員の無理・無駄を削減

日産自動車系のニッサン・パワートレイン（タイランド）のガソリンエンジン組立ラインを担当するサムレット・シニアスーパーバイザーのテーマも「ヒト」。工程内不良の85%を人的ミスが占めていたため、工程の難しさを3段階に分けて分析。熟練を配置している最も難解な工程でも不良が多く発生していたため、スキル評価の

PHOTO NEWS

TAKE OFF



JMAが生産現場管理の事例発表会を開催。デンソーが大賞を受賞した=2日、タイ（NNA撮影）

まさに東南アジア最大級。5月31日〜6月4日にバンコク近郊で開催された食品見本市「タイフェイクス（THAI FEIKS）2017」を取材した感想である。初日は会場周辺の道路が大渋滞し、会場内も出展者やバイヤーらの熱気に包まれていた。製造業の展示会とは異なり、タイ周辺国の企業が複数出展するのうれしい。ミャンマーの食べるお茶（ラペソー、湿ったお茶の意）、ラオスのコーヒー、カンボジアのコシヨウなど各国の名産品をまとめて味わえる絶好の機会と言える。缶詰の製造・販売大手のミヤマ企業長の社長は、日本のペットフード市場に着目。イワシを原料とするペットフード缶を日本に輸出したいと意欲をみなぎらせていた。製造技術と価格競争力には自信があるという。日本商社などの協力を得られれば、実現できるのではないかと期待している。（黒）



中古工場売物件

土地面積:4,480平米
建屋面積:3,142平米
ハイテック工業団地
アユタヤ

詳しくはこちらをクリック

industrial.thailand@ap.jll.com

02 624 6483



ジョーンズ ラング ラサー(タイランド)株式会社

事業用不動産売買仲介・貸し工場・倉庫・不動産鑑定評価

見直しに踏み切った。



工程内不良の削減に向けた取り組みを紹介するニッサン・パワートレイン(タイランド)の担当者=2日、バンコク(NNA撮影)

評価制度の厳格化や技術向上に努めた結果、16年度の工程内不良は目標の前年比50%減を上回る69%減を達成。若手にもよりの技術を目指す向上心が生まれたという。

2年前に稼働したマツダ・パワートレイン・マニファクチャリング(タイランド)の金属成形

部門は、手作業による一部の機械の段替えにかかる時間を36%短縮した事例などを紹介。作業員が「歩く」「振り返る」などといった時間のロスとなる行動の削減に向けた取り組みも解説した。

同社は、今年のトランスミッション生産数を昨年実績の36万個から40万個に引き上げる方針を示している。現場ではまだ各工程の早さのばらつきなどに改善の余地があるため、タクトタイムの向上を進めていく。

生産性向上に努める

このほか、NECプラットフォームズタイ、ダイキン・インダストリーズ・タイランド、三菱電機傘下のサイアム・コンプレッサー・インダストリーの3社から現場改善を成し遂げた管理監督者が講演した。

「ムダ発見活動」で数秒単位の動きのロスを削減していったNECプラットフォームズ、ラインの配置から効率化させていったダイキン、サイアムと、それぞれが生

【タイ鉄鋼】

金属加工BM、企業向け強化で年商32億円へ

タイの金属加工製品メーカー、バンコク・シート・メタル(BM)は、今年の売上高が前年比18%増の10億バーツ(約32億4,000万円)になるとの見通しを示した。2日付ポストトゥデーが報じた。

昨年の業績は売上高が前年比6%増の8億5,000万バーツで、純利益は12%減の5,900万バーツ。今年1~3月は売上高が前年同期比5.8%増の2億バーツ、純利益が38.5%減の800万バーツの増収減益となったものの、金属製ケースなどのB to B(企業間取引)向け販売が伸びており、4~6月の業績は1~3月を上回る見

産性の向上に取り組み成果を出した。改善目標があり、達成するための工夫を練る。関係者は「改善活動に終わりは無い」と口をそろえた。



「今後もものづくりに貢献する」と語るJMAの中村会長=2日、バンコク(NNA撮影)

JMA本体が主体となる同発表会は、昨年に海外で初めてタイで実施し、今回が2回目。JMAの中村正己会長は「JMAは75年間、ものづくり企業とともに発展してきた。今後も貢献していきたい」とあいさつした。大賞を受賞したデンソー(タイランド)は、来年

に日本で実施される「ものづくり総合大会」でも事例を発表する。

タイの「ゲンバ・マネジメント・カンファレンス&アワード2017」の発表内容

会社名	概要	主な成果
NECプラットフォームズタイ	電話機器の生産工程の「ムダ発見活動」	IP電話生産のサイクルタイムを23%短縮
ダイキン・インダストリーズ・タイランド	住居用空調機の生産性効率向上	生産能力13%増、生産性31%増
サイアム・コンプレッサー・インダストリー	シェル組み立て工程の改善	リードタイムを66~74%短縮
デンソー(タイランド)	コンデンサー生産の安定化	工程内不良を89%減少
ニッサン・パワートレイン(タイランド)	ガソリンエンジン組立工程の品質向上	工程内不良を69%減少
マツダパワートレインマニファクチャリング(タイランド)	段替えの無駄の改善による生産能力の向上	一部作業にかかる時間を36%短縮

通し。現時点で3億バーツ以上の受注を確保しており、全て今年の売上高に組み込まれる見込み。

1~3月の顧客別販売比率はB to Bが41%、建設業者向けが59%。現在は利益率の高いB to Bを重視しており、年内に50%ずつにしたい考え。これにより、粗利益率は17.5%から20.0%に上昇するとみている。

同社は現在、第2工場の建設を進めており、年内に稼働する見通し。生産能力が30%程度拡大し、利益率がさらに上昇するとみている。